

“南九州地域のクルーズ拠点として機能性をアップ”

第9岸壁、第10岸壁を利用し、22万トン級の大型クルーズ船にも対応可能。

さらに、ファーストポートとして対応可能となりました。

入出港時は風光明媚な景色の広がる国定公園「日南海岸」を、停泊中は「鶴戸神宮」や「飫肥城」、「青島」など県南～県央地域の観光名所を楽しめます。



MSCベリッシマ



歓迎セレモニー



飛鳥II

◆油津港のCIQ体制

税関 (Customs)	出入国管理 (Immigration)	人の検疫 (Quarantine)	動物検疫 (Animal Quarantine)	植物検疫 (Plant Quarantine)
○	○	□	×	○

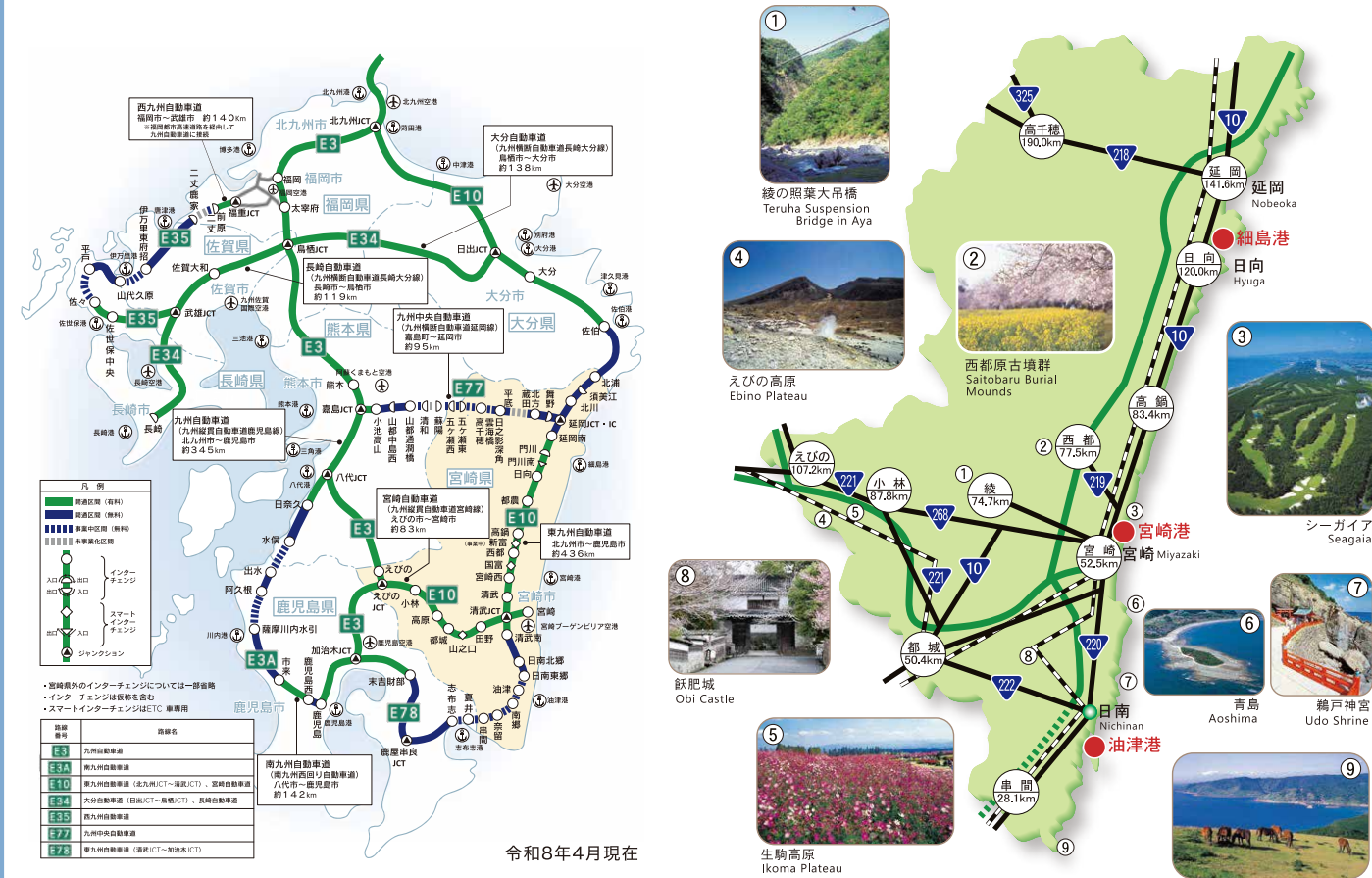
注)○:指定 □:無検疫対応可能 ※:未指定

■九州の高規格幹線道路網図

宮崎県の港湾へのアクセス 宮崎～九州各県

■日南市から各市町村までの距離と主要観光地

※距離は、日南市を拠点とした一般道利用時



宮崎県ポートセールス協議会

宮崎県県土整備部 港湾課内 TEL0985-26-7189

油津港 ポートセールス協議会油津委員会（事務局）油津港湾事務所 TEL 0987-23-3125



ホームページはこちら⇒

令和8年4月作成

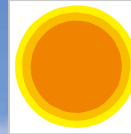


油津港

ABURATSU PORT

大型船の接岸を可能にし、港湾機能の一層の充実をめざす歴史豊かな港。

（宮崎県日南市）



日本の
ひなた
宮崎県



油津港の概要

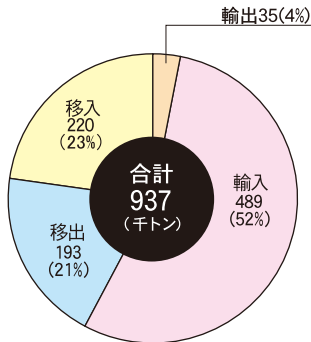
- 所在地：宮崎県日南市
- 港湾区域告示：昭和28年3月
- 港湾区域面積：271ha
- 重要港湾指定：昭和27年2月
- 入港船舶数(R6):2,166隻
- 入港船舶総トン数(R6):4,614千トン
- 貨物取扱量(R6):937千トン
- コンテナ取扱量(R6):2,904TEU

水深12m、水深10mの大型岸壁を備えた東埠頭

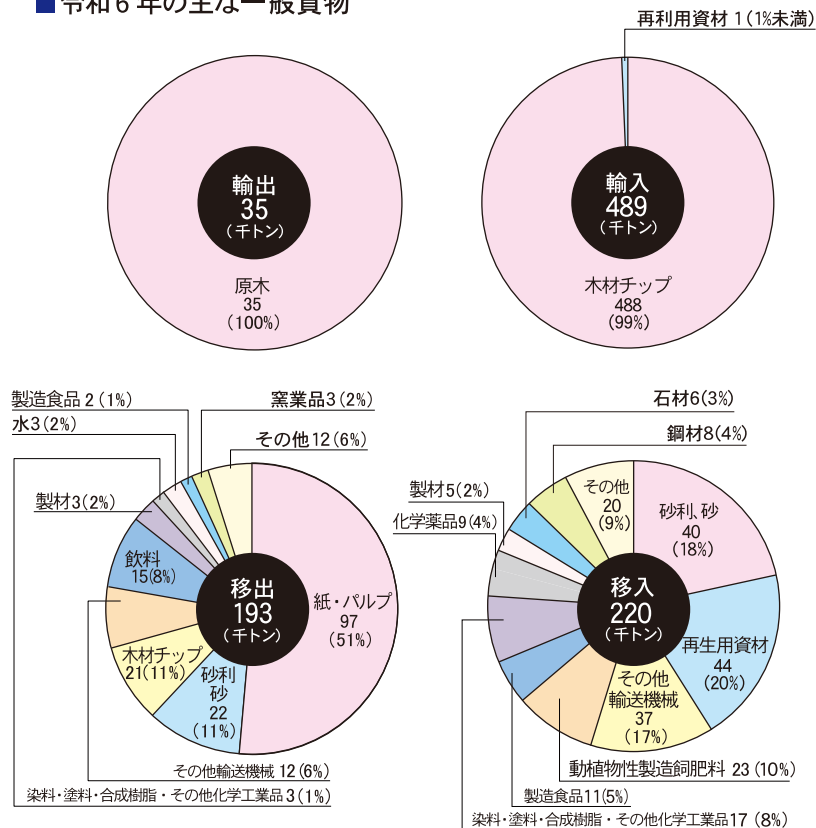
油津港は、昭和27年2月に重要港湾の指定を受け、背後圏のニーズに応じた港湾機能の向上が図られています。平成10年には水深10m及び12mの大型岸壁を備えた東ふ頭が供用開始となり、現在では50,000トン級の大型チップ船の入港が開始されています。

現在、油津港の定期航路としては、県南地域と大都市圏を結ぶRORO船航路とコンテナ航路が就航しており、県南地域の産業を支える物流拠点として、さらに平成29年度から22万トン級の大型クルーズ船の寄港が可能となるなど、海上物流・観光における県南地域の海の玄関口として大きな役割を担っています。

■令和6年の貨物取扱量



■令和6年の主な一般貨物



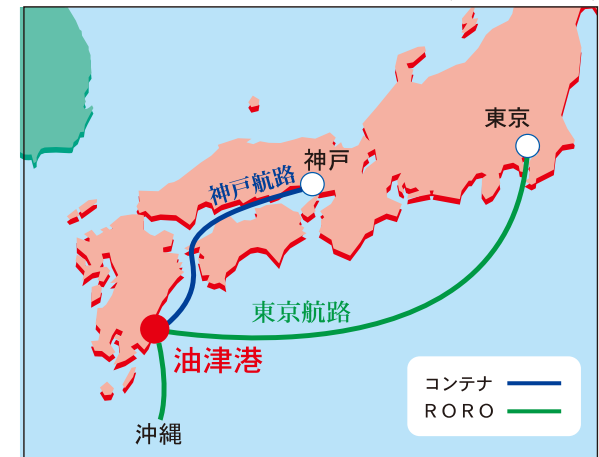
オイローバ（R6.3.20初寄港）

県南地域の産業振興の拠点として 国内外への海上輸送をサポート

平成11年に油津港初となるRORO船の東京航路が就航し、更に平成21年には神戸港とを結ぶ国際フィーダー航路が開設され、油津港の利便性が向上しています。

また、東九州自動車道の整備も着実に進められており、油津港は、県南地域の産業振興の拠点として大きな役割が期待されています。

■油津港からの定期航路ネットワーク（令和8年4月作成）



(注) RORO船とは／

Roll on Roll off Shipの略。岸壁と船との間をランプ・ウェイ（RampWay）と呼ばれる橋で結び、船側のゲートから貨物を直接トラックやフォークリフトで搬出できる船。トラックのドライバーは搭乗しない。

航 路 名			船 会 社	開設年月	便数/週	運航スケジュール	船舶代理店 (電話番号)	船名・積載能力
コンテナ	神戸航路 フィーダー	油津－神戸	〇〇CL (井本商運)	H19年1月	1 便	油津(土)－神戸	日本通運 日南支店 (0987-23-2148)	「さがみ」400TEU
RORO	東京航路	油津－東京	マルエーフェリー	R5年1月	3 便 ※上下 2 船就航	油津 (月・水・金)－東京－(名古屋)－油津 －志布志－那覇－志布志 ※ (名古屋) へは隔週 1 寄港	王子物流 (0987-23-3606)	「琉球エクスプレス3・5」 12mシャーシ148台 乗用車96台 「琉球エクスプレス7」 12mシャーシ187台 乗用車202台

公共岸壁一覧			上屋・倉庫一覧	
岸壁NO	水深(m)	延長(m)	ア	県営1号上屋
1	-5.0	70	イ	県営2号上屋
2	-7.5	130	ウ	油津臨港倉庫協会倉庫
3	-5.0	70	エ	王子製紙(株)倉庫
5	-5.5	194		
6	-7.5	150		
7	-7.5	152		
8	-6.6	102		
9	-10.0	185		
10	-12.0	240		

第10岸壁延伸整備中

東地区には広大なふ頭用地を確保。 上屋、クレーンなどの整備で更に機能アップ。

東地区の水深10m及び12m岸壁の背後にふ頭用地を確保。

船舶の大型化に対応するため、令和5年度から第10岸壁の延伸工事に着手しており、港湾機能の向上を図っています。



チップヤードの利用状況



県営上屋：(左)1号上屋1635m²/(右)2号上屋1350m²



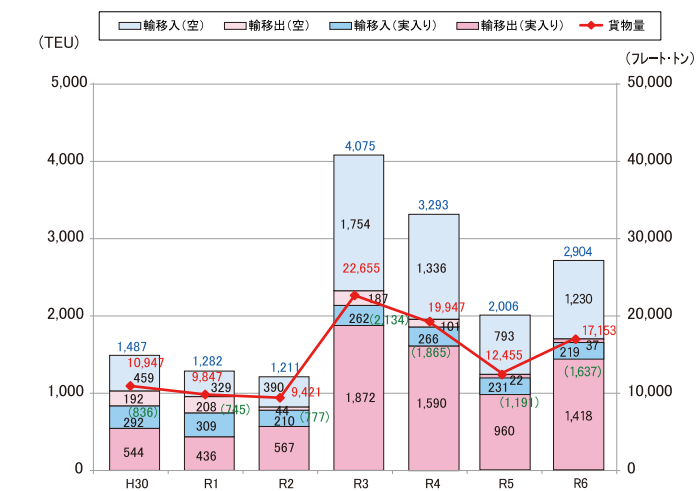
タイヤマウント式ジブクレーン

対象船舶	1万トン級コンテナ船
対象貨物	20及び40フィートコンテナ
定格加重	38トン(フック下)
施回半径	最大32m 最小9.5m

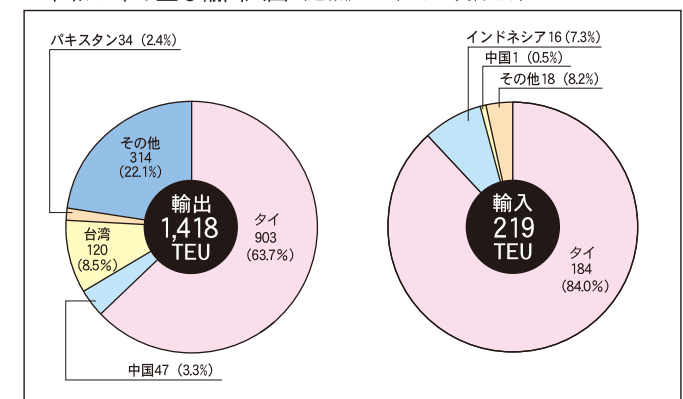


第9・10岸壁の様子

■コンテナ取扱量の推移(H30～R6)



■令和6年の主な輸出入国（速報値・フィーダー貨物込み）



■令和6年の主な輸出入品目（速報値・フィーダー貨物込み）

